



Lightec  
SINCE 1937

Presents

## 2025 HOTEL LOCAL BASE CUP

- ★ 出場カテゴリー  
IQFOIL CLASS (オリンピック種目)
- ★ 期間  
2025年 2月8日(土)~2月10日(日)
- ★ 会場  
沖縄県宮古島市 与那覇前浜ビーチ

こんにちは☀️  
プロウインドサーファー倉鹿野巧です  
今回のレポートは先日出場した全日本選手権について書いていきます！

会場は今までの本州とは違い、  
場所はなんと南国宮古島☀️  
あつたかい海！とはしゃいでいたのですが、、、現地に行くとまあ一寒い。  
トランクには半袖短パンを多めに。しかしほとんど出番はなく終わってしまいました。

そんな寒い宮古島遠征でしたが、海はもちろん宮古ブルー。とんでもなくきれいな海での大会映像を交えながら活動をお伝えしていきます！



# 宮古島にLet`s GO



今回の移動は飛行機です。  
ウィンドサーフィンの道具も  
一緒に飛行機で運んでいきます

レースで使う超大事な道具達、空  
輸途中で傷がつかないようにプチ  
プチで包んだり動かないようにした  
りしてから積み込み！そして空港に  
向かいます



空港でとにかく目立つ！  
通りすがりの人が不思議そうに  
大量の道具を見ている。『あれ  
人間入ってないよね？』とい  
う声も

総重量 約80kg！  
空港職員さんにお世話になりな  
がら手続きしていきます



なんとか道具が積まれ宮古島へフライト  
場合によっては飛行機に道具が積まれないこ  
とがあるそうです、よかった～  
座席は窓側！宮古島着陸前にちょうどレース  
会場の上空を飛んだので、空から下見ができ  
ました 😎

# 与那覇前浜ビーチで練習開始！



現地ならではの特徴を下見していきます！

今回は離島の宮古島、周りに陸地がないため、波が大きいことが特徴でした。そして自然豊かなので、ウミガメが大量にいます。ウミガメは可愛いですが、当たると大惨事です。1日に3回くらい遭遇するので避けながら乗っていました。



左の3つの動画は練習映像です

①はレース形式の動画

黄色いブイを結んだ見えないラインをスタートラインとしています。

②③は艇速練習です。

同じ乗り方をしてスピードを比べる練習方法、これを道具チューニングを変えながら何度も何度も繰り返します。



# 宮古ブルーで動画撮影

暖かい宮古島生活を満喫！したかったのですが、本州が極寒のタイミングだったため、宮古島もなんと最高気温12℃の日がありました。

これは大会関係者によると異例の寒さとのこと

曇りや雨で気温の低い日が続きましたが4日目にしてやっと晴れて気温18℃、宮古島らしい気候になってくれました。

左の動画は、そんな貴重な晴れで撮影した映像です。晴れると宮古ブルーがすばらしい！

ウミガメを動画に納めたかったのですが、近づくと逃げていってしまいます。来年こそはツーショットを狙ってみようと思ってます。



カメラはココ！



# 大会1日目

レース前

レース後



大会1日目は、超強風のコンディション風速13m/s以上

\* 台風の強風域は風速 15m/s

風があまりに強いので、午前中は陸上で待機になりました。午後になり、ほんの少し風が落ち着いたタイミングで、メンズクラスのみ行われることになりました。

海上はとんでもない風と波。レースギリギリのコンディションになっていました。正直苦手なコンディション。初日なので、絶対にポイント争いから離れない位置で終える必要があります。2レース行い、結果は5位と4位で全体4位。悪い滑り出しとなってしまいましたが、勝負できる範囲内です。この強い風のコンディションはこれからの課題です。

左の動画はレース直前、直後のインタビュー動画です。選手同士の会話で専門用語だらけですみません 🙇



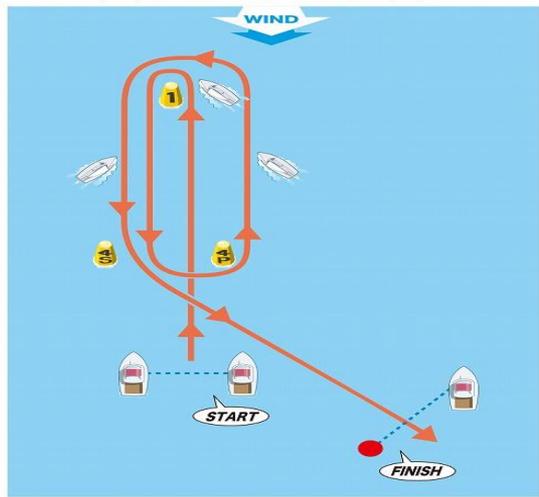
いつでも出れるようにして待機!

# 大会2日目



上下コース

スタート → 1 → 4 → 1 → 4 → フィニッシュ



大会2日目のコンディションは風速9m/sほど

\*これはレース実施可能な範囲の中間です。

このコンディションが今のところ一番自信を持っている風域なのでいい順位を取りたいところ。

最初のレースに向けてさあ出艇です！

レース形式はコースレースと呼ばれる10分ほどのレース

レース海面をみたら風がかなり弱そうな雰囲気。

道具チューニングを浮きやすく変更してからレースに向かいました。

いい判断だと思ったのですが、これが失敗。レース数を増すごとに風が上がっていってしまいました。パワーのありすぎる道具では抑えるのが少し大変で、スピードがあまり出ません。これだけが原因ではないですが、思ったように走れずにポイント差を埋められませんでした。

2時間海上で5レース連続、疲れMAXです

2日目終了時、全体4位。

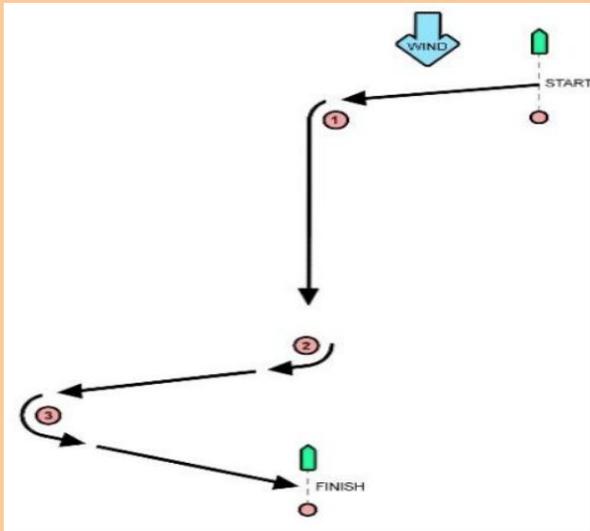
3位とは3ポイント差、最終日は残り2レース。

表彰台に滑り込めるのでしょうか、、、勝負は最終日へ

上の動画・・・実際のレース映像

下の画像・・・レースのコース図

# 大会最終日



3位と3ポイント差で迎えた最終日。

かなり風が弱く、レースができるかギリギリのコンディション。

少し風待ちをしたのち、風が上がってきたのでレース開始！

弱い風用の浮きやすいチューニングに変更してレースに向かいました。

下の画像はコース図です。

1.2日目とは違うコースでスラロームスプリントと呼ばれます。

4分ほどで終わる短時間のレースで、速い展開が魅力で

見ていて順位が分かりやすい形式です。

初めてスラロームスプリントに参加しましたが、

短期決戦なため、絶対にミスできない緊張感がありました。

最終日は2レースしか行われないので、3位の選手より前でフィニッシュは最低

条件で、あいだに選手を挟んでフィニッシュする必要がありました。

結果は、3位と2位、どちらも3位選手よりも上位に入り総合順位を逆転することができました！

なんとかギリギリ3位表彰台。安心しました。

陶器のシーサートロフィー



# 表彰式

3位入賞  
シーサーモチーフの素敵なトロフィーと  
賞金6万円をいただきました

初出場となったQFOIL全日本選手権  
初めてのレース形式や、うねりの大きい海  
など初体験のことが多くとても経験になるレース  
になりました。

また、3位に入賞することができたことからQFOILに乗り  
始めて2年目でやっと基礎ができてきたと感じています。  
基礎ができたなら次は応用。2025年は海外に踏み出し、  
海外トップ選手のスピード感、  
技術、など実際に目で見て吸収していく年にしたいと思います。  
来年の全日本選手権では優勝します  
最後まで読んでいただきありがとうございました！

今回の遠征では、品川鐵工場様からの  
温かいご支援を賜りました。  
誠にありがとうございました。  
心より感謝申し上げます。



遠征仲間みんな賞金ゲット！

